

令和5年度 第3回学校運営連絡協議会 議事録

●日時

令和6年2月10日（土） 13:15～14:30

●出席者

保谷中学校 校長 様
民生・児童委員 様（2名）
にこにこ本町代表 様
柳盛会柳沢北口商店街元会長 様
本町小学校おやじの会 様（2名）
本町小学校世話人会代表 様（2名）
本町小学校 校長・副校長・教務主幹・生活指導主幹



●学校長挨拶

- ・今年度の教育活動を振り返って

●本町小学校の生活指導に関する報告（生活指導主幹より）

●学校教育に関するアンケートの結果の報告（教務主幹より）

●協議会委員の皆様より

（保谷中学校校長様）

- ・アンケートの結果から、「楽しく学校に通っている。」と答えている児童が9割いるということは、日頃の教育活動、学習の成果が表れていることの証。
- ・保中との校庭開放も行って見て、有意義なものになっていると感じている。
中学生は小学生に「良い姿を見せたい。」という思いをもつとともに、「自分にあんな時があったなあ。」と自分を見つめなおすことができるいい機会になっている。
- ・図書委員による「ビブリオバトル」を6年生児童に見学してもらった。児童からの質問も鋭いものがあり、中学生も刺激を受け、相乗効果があった。小中連携の取組を一層充実させていきたい。

（民生・児童委員様）

- ・避難訓練をほとんどの児童が真剣に行っているという報告。素晴らしいと思う。
一部の児童の真剣にできていない児童に対して、どのように指導していくのが大事。
- ・先生方も温かな関係ができています。教職員同士が支え合っている様子がうかがえる。
今後も継続して行ってほしい。

（民生・児童委員様）

- ・質問9「お子さんは、テレビやゲーム、携帯電話などに依存することなく生活できていますか。」について
 - ・肯定的な意見の回答が低いものとなっている。依存している児童が多いのかなと懸念する。各家庭で影響はないのかなと危惧する。自分の家庭でも見ていると、なかなかやめられないようになっている。各家庭での指導ではあるのだが、例えば、学校の宿題を終わらせてから、ゲームの時間にすると切り替えの習慣させる必要があるのではないか。
- （校長）
- ・ゲームをしていいことが褒美化しているのではないか。
もっと「学習することが楽しい。」と児童が主体的に感じられるようになっていくのが望ましい。
- （生活指導主幹）
- ・2年生は自主学習ノートを始める。取り組ませ方を工夫し学んだり、知ったりすることが楽しみと
感じられるような工夫をしていきたい。

（民生・児童委員様）

- ・質問10「ご家庭では、お子さんのよいところを話題にしていますか。」について
- ・親が子供を怒る材料が増えてきていると思う。失敗したところを「何で？」と言うのではなく、できたことをほめるということをしてあげた方がいい。

→ (校長)

- ・子どもが自分で気付く力というものも必要だと思う。ゲームをやりすぎると体調を崩すことになる等、不具合が発生したことにより、自分で判断することも大切になってくる。失敗経験も必要なことではないか。

→ (保谷中学校校長様)

- ・生徒にも「メディアコントロール」のことを指導している。中学生で深夜まで起きている生徒は生活習慣も乱れることもあるので、定期テスト前には学習の時間を自分で計画させるようにしている。

(柳盛会柳沢北口商店街 元会長様)

- ・報告にあった、「保谷中学校との交流、ファシリテーション、ビブリオバトル」についての質問
- ・避難所運営委員会のメンバー構成と来年度の進め方に関する質問

(おやじの会様)

- ・学校の取組が素晴らしい。全体として(肯定的評価の)数値が上がったことに表れている。
- ・タブレットとどう付き合っていくかは今後も課題になるだろう。

→ (校長)

- ・今後は「個別最適な学び」と「協働的な学び」を並行して進めていくようになる。「個別最適な学び」は一人一人に合った調べ学習等を行ったり、「協働的な学び」は一人の意見を全体での学びに展開する際に用いる等、場面ごとに使い分けながら進めていく必要がある。

→ (教務主幹)

- ・先日、パナマ大使館との交流会があった際、調べ学習で日本の文化のことを調べ、それを基にしてスライドを作成した。児童は遊び感覚で合意形成しながら作っていた。タブレット端末の有用性をその時、指導者として感じた。

(おやじの会様)

- ・SNS、ネット、ゲームなど、自分の子供もやめることができない。交換条件を与え、そのために勉強させることいいと思わない。保護者も学校も同じように取り組んでいけるといいと思う。
- ・子供が本を読む機会というのが減っていったらと思う。プレゼンテーションする機会を設定し、今後やっていっていただけたらいいと思う。

→ (校長)

- ・子供同士が本を紹介し合うことで、子供が本を読む冊数が増える、読む本のジャンルが変わる、プレゼン能力が上がるという効果が分かっている。今後も工夫して取り組んでいきたい。

(世話人会代表)

- ・当日の「道徳授業地区公開講座」の公開授業で講師の先生がお話されたことに感動した。自分が主体性をもちながら生きなさいというメッセージを言われたような気がする。6年生ともグループになり、意見を伝え合った。6年生の考えを聞いて、ハッとされたことがあった。学びになる一日だった。

(世話人会副代表)

- ・自分は保谷中出身だが、当時はこのようなこと(本町小との交流)がなかった。
- ・ディベート等、児童が考えを伝え合う機会を増やしていくといいと思う。

● (副校長より)

来年度からはコミュニティスクールになります。保谷中学校と合同で進めてまいりますので、またメンバーを再編成してのスタートとなります。これまでの学校運営連絡協議会は今回をもって、一旦一区切りとなります。委員の皆様にはこれまで多くの場面で、ご指導・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。今後とも本町小学校にご指導・ご助言をいただきますとともに、ご協力いただければ幸いです。これまでありがとうございました。